

文科省の教育研究発表会で財政をテーマに連携

福岡教育大学附属福岡小学校の教育研究発表において、国の財政を題材とした「これからの幸せな国のカタチ」をテーマとして、財務省・財務支局が連携。発表会(平成30年2月17日)では県内外から多くの学校関係者等が来場した。

教育研究発表会までの取組

6年生を対象とした研究授業「これからの幸せな国のカタチ」において、当局が推進する「財政教育プログラム」と連携。発表会まで財務省・財務支局が、

①財政の講義を実施



②児童が財政を学習していく上での疑問点を洗い出し、学習の方向性を考える授業に参加。

③児童が科学や医療等各分野について学習し、「10年後の国の財政」を考えるにあたり、考えが近い班(党)に分かれて財政プランを検討するグループワーク(財政会議)に複数回参加。

【財政教育プログラムとは】

主権者教育の観点から、財政について興味を持ってもらうため、タブレット等を使って予算編成を考える、アクティブラーニングを取り入れた財政授業

取組の成果

教育研究発表会では、北欧の国を詳しく調査し高福祉国家を目指すべきとした党や、団塊世代からのバトンを受け政策を実行していくといった党など、5つの党から財政プランが発表され、日本の将来の財政を真剣に考える姿があった。

当日は、予算編成に携わる財務省職員も参加し、児童たちの刺激になった。教室には入りきれないほどの学校関係者等が視察した。



今後の展開

今回視察に来られた学校関係者が、財政についての授業に取り組んでいただくことを期待するとともに、当局は財政教育の普及を今後も進めていく。